

研究協力のお願ひ

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、研究機関の長の許可を受けたくうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 病理学教室

記

研究の名称	膵臓および唾液腺病変におけるタフト細胞の機能の検討
対象	2013年1月1日から2023年12月31日までの期間に膵臓切除術および唾液腺切除術を受けた患者さんの既存のHE標本およびパラフィンブロックを研究に利用いたします。本学では、200例（膵臓100例、唾液腺100例）を予定しています。
研究期間	研究実施許可日 ～ 2028年12月31日
試料・情報の利用 目的及び利用方法	<p>利用目的：膵臓の腺房細胞が導管細胞様に変化する acinar-ductal metaplasia (ADM) と呼ばれる現象は、腺房細胞の再生・組織修復に関与し、さらに腫瘍発生にも関係していることが知られています。タフト細胞は気道、唾液腺、消化管や膵臓に存在する化学受容体細胞です。マウスモデルでは ADM におけるタフト細胞の出現は、腺房細胞の再生・組織修復や腫瘍発生に関係していることが報告されています。しかし、ヒト ADM におけるタフト細胞の存在やその役割については不明です。また、唾液腺にもタフト細胞が存在することが報告されていますが、唾液腺炎や唾液腺における役割については明らかではありません。</p> <p>本研究課題では、膵臓切除検体において ADM や PanIN と言われる前癌病変などにおいてタフト細胞が存在するかどうかをそのマーカーであ</p>

参加拒否の申し出について

ご自身の既存のHE標本およびパラフィンブロックを研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします（対象者の代理人からの申し出も受付いたします）。参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。

<問い合わせ窓口>

【研究機関】

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学 病理学教室

担当者 石田 光明

連絡先 072-683-1221（代） 内線 54021

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿
大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学
研究責任者 石田 光明 殿

研究の名称	膵臓および唾液腺病変におけるタフト細胞の機能の検討
-------	---------------------------

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

年 月 日 対象者 住所

氏名（自署）

※ご本人が自署できない場合は、代諾者の方がご記入ください。

代諾者（続柄： ）

住所

氏名（自署）